

ご応募ください。役立つサポートプログラム

Program 1

海の企画展サポート

あなたの館ならではの切り口で、「海の学び」を生む企画展の資金をサポート。企画展及び関連するイベントも対象となりますので、内容をさらに充実させることができます。

【募集要項】

- 受付期間：
前期 2025年11月15日(土)～2025年12月15日(月)
後期 2026年 3月 1日(日)～2026年 6月30日(火)
※後期募集分については、受付期間内であっても、予算額に達し次第受付を締め切ります。予めご承知おください。
- 支援金額上限無し / 支援率上限80%

Program 2

海の博物館活動サポート

企画展以外の、「海の学び」を生む多種多様な事業・イベントの資金を幅広くサポート。学校との連携活動に関する事業も積極的にサポートします。

Aコース
博物館活動

Bコース
博学連携活動

【募集要項】

- 受付期間:2026年3月1日(日)～2027年2月28日(日)
- 支援金額上限300万円 / 支援率上限100%

Program 3

海の学び調査・研究サポート

あなたの館ならではの、オリジナリティのある「海の学び」をカタチにするために。準備のための調査・研究活動の資金をサポートします。

【募集要項】

- 受付期間:2026年3月1日(日)～2027年2月28日(日)
- 支援金額上限50万円 / 支援率上限100%

ご申請にあたって

- ・ご申請を検討いただくにあたり、支援実施ガイドブック等関係書類を必ずご確認ください。疑問点やご不明点がございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。
- ・「海の学びミュージアムサポート」ウェブサイト内リンク先の問い合わせフォームより、ご計画の事業の詳細をお知らせください。事務手続き上必要な書類の確認等、お問い合わせから正式なご申請まで、1か月～2か月ほどかかる場合があります。
- ・原則として申請日は事業期間の開始日2か月半前を目安に、余裕のあるご申請をお願いいたします。

●申請スケジュール

※Program 1「海の企画展サポート」前期募集分を除く



海の学びを広げよう
あなたの活動を支援します。

船の科学館 海の学び ミュージアム サポート

▶ウェブサイト

海の学びミュージアムサポート

<https://uminomanabi.com>

検索



船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート



公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」事務局
〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目8番3号 汐留エッジ5階
TEL:03-5500-1113 / FAX:03-5500-1190
E-mail:uminomanabi@funenokagakukan.or.jp



2025-10

2026年度

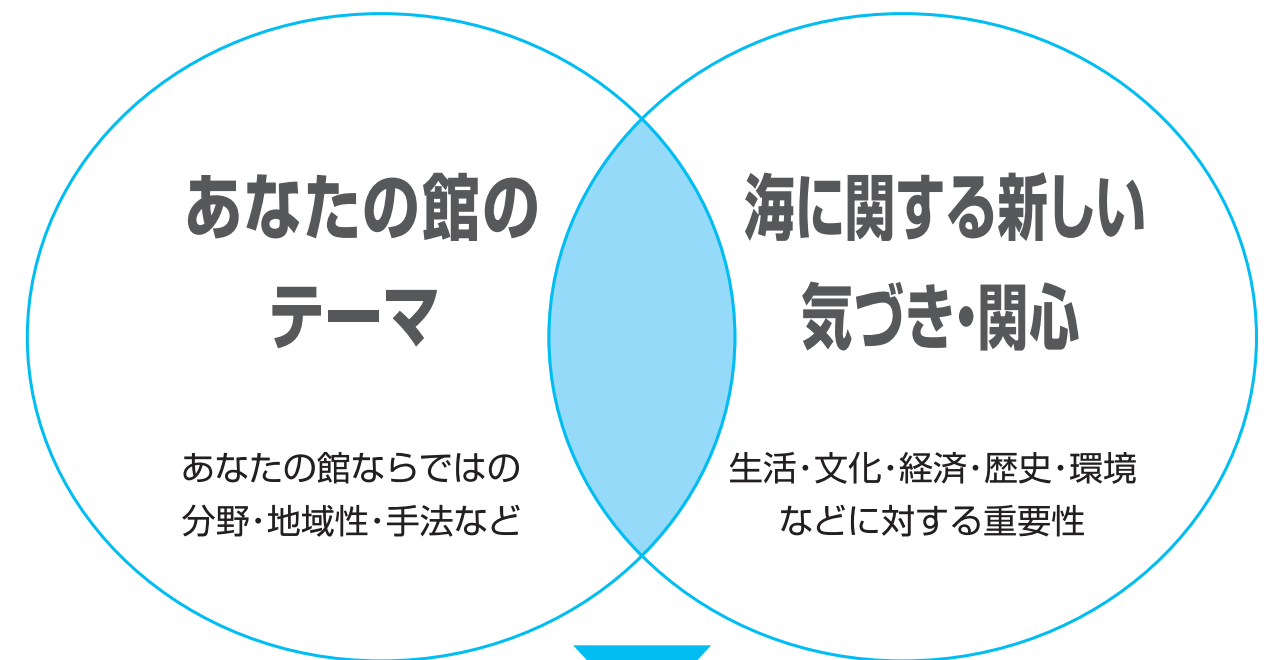
日本中のミュージアムを支える、新しい仕組みです。

海の学びを広げよう ― あなたの活動を支援します。

海に囲まれた日本だから、海の大切さを学ぶ体験を日本中へ。
博物館、美術館、水族館をはじめ、
あらゆるミュージアムの活動を支援し、学びの場を広げていく。
それが「海の学び ミュージアムサポート」です。
あなたの館ならではの、
海の展示・事業・イベントなどをあらゆる角度からサポートします。
ミュージアムの数だけ、「海の学び」がある。
さあ、あなたの館でも、新しい活動を。

「海の学び」とは

本事業における海の学びとは、「海洋教育」の一環となる活動です。
海洋教育とは、「海に親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、
さらに海と人との共生のために「海を利用」しながら「海を守る」ことの大切さを学ぶものです。
社会教育の観点はもちろん、学校教育をも含め、
「海洋」に関する生涯学習の場を広げることを目指しています。
「海を守る」ことの大切さを学ぶことで、毎日の中で海を意識して行動できる人を
数多く育成し、次世代に豊かな海を引き継いでいきます。



「海の学び」

あなたの館独自の切り口で、
海の学びを生みだしてください。

海を専門としない、あなたのミュージアムにも。

海にまつわる知識やノウハウを持つ館はもちろん、これまで海に関連する活動を一切行ったことのない館も積極的にサポートします。海の価値はさまざまです。「うちの館は、海とは関係ないな」というミュージアムにも、実は海をとりあげるテーマがある、という場合がたくさんあります。

Case1

海を有する県の総合博物館
海中の遺跡をテーマとした活動による海の学び

Case2

山の中の自然史系・歴史系資料館
山・川・海のつながりをテーマにした活動による海の学び

Case3

街の中の美術館
海をテーマとした演劇やアウトリーチ活動による海の学び

ミュージアムの活動に合わせた様々なサポートプログラム

企画展を開催したい

プログラム①「海の企画展サポート」

あなたの館ならではの切り口で、「海の学び」を生む企画展の資金をサポート。企画展及び関連するイベントもサポートします。



ミュージアムパーク茨城県自然博物館
(2020年度事業)



宮崎県総合博物館 (2024年度事業)



海の学びの事業実施に向けた調査研究を行いたい

プログラム③「海の学び調査・研究サポート」

あなたの館ならではの、オリジナリティのある「海の学び」をカタチにするために。準備のための調査・研究活動の資金をサポートします。



名古屋市博物館
(2017年度事業)



秋博物館 (2023年度事業)



新たな教育普及事業を行いたい
教材キットを作成したい
など

プログラム②「海の博物館活動サポート」

学校向けのプログラムを展開したい
学校で活用できる教材を作成したい
など

Aコース 博物館活動

企画展以外の「海の学び」を生む博物館での多種多様な事業・イベントをサポート。



長崎市恐竜博物館
(2023年度事業)



長崎県美術館
(2017年度事業)



御食国若狭おばま食文化館
(2019年度事業)



Bコース 博学連携活動

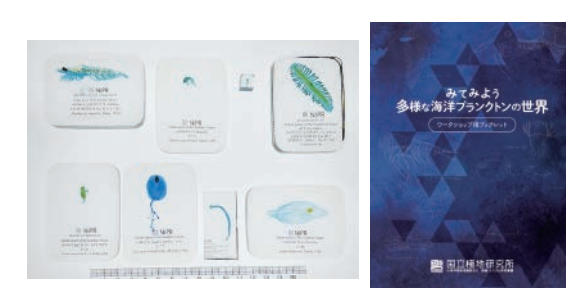
学校教育現場と社会教育施設の連携による、次世代への海をテーマにした新たな学びの機会をサポート。



南さつま市坊津歴史資料センター
輝津館 (2015年度事業)



様似郷土館
(2018年度事業)



国立極地研究所 南極・北極科学館
(2021年度事業)



次年度の募集時期や支援金額については最終ページをご確認ください。

サポート内容

サポート活用施設(機関・団体)一覧

申請方法

STEP1

申請の準備

申請に必要な関係書類・
書式をウェブサイトで確認

STEP2

事前連絡

正式なご申請の前に事務局
への事前連絡をお願いします

STEP3

申請書の入力

必要事項をフォームに
入力してください

STEP4

申請書の提出

申請受付期間は各プログラム
によって異なります

詳しくは、下記にてご確認・お問い合わせください。

▶ウェブサイト

海の学びミュージアムサポート

<https://uminomanabi.com>

検索



よくある質問

Q1 これまで海に関する事業を実施したことがないのですが、申請できますか？

A1 過去に「海」を題材にした企画展や活動をしたことがないミュージアムや、一見海と関係がないと思われる分野や地域からのご相談・ご申請も多数いただきました。「海」をテーマにした新しい学びの実践として、是非当サポートの活用をご検討ください。

Q2 申請にあたり、スケジュールと注意点を教えてください。

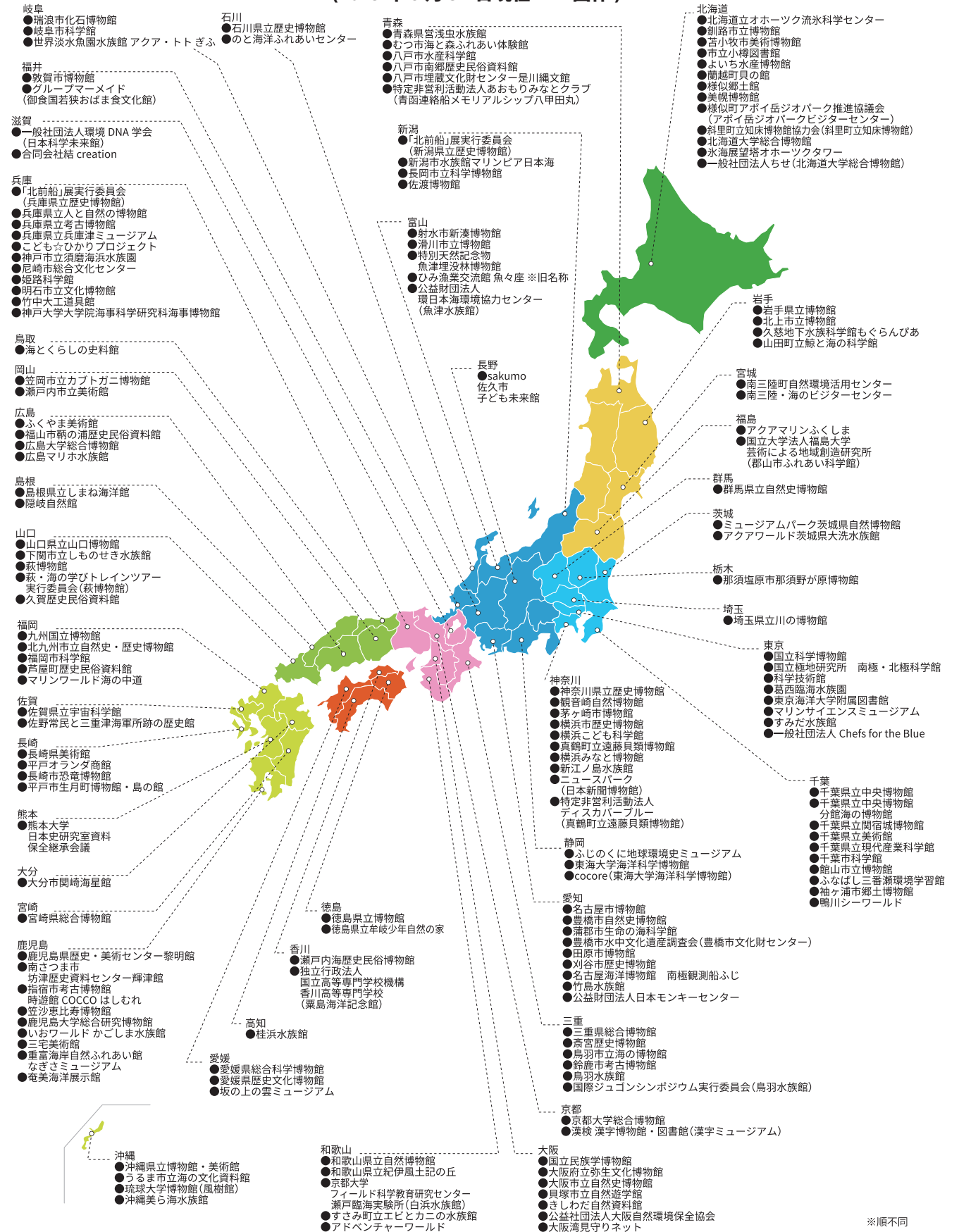
A2

- ・ご申請は、オンラインのみで承っております。ご相談・ご申請をいただく際は、できる限りスケジュールに余裕を持ってご申請をお願いいたします。
- ・正式なご申請の前に、問い合わせフォームより、ご申請を検討されている事業について詳細をお知らせください。
- ・問い合わせフォームのご連絡から正式なご申請までに、事務手続き上必要な書類等の確認のため、1か月～2か月ほどかかる場合があります。
- ・原則として申請日は、事業期間開始日の2か月半前を目安に、余裕をもってご申請をお願いいたします。

ご不明な点等がございましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。

今までのサポート事例を公式HPにて紹介中！
船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業実践事例集

(2025年8月31日現在 171 団体)



※順不同